

経営協議会学外委員からの提言への対応（平成 26 年度）

開催日	議 題	意 見	対応状況等
<p>第 2 回 26. 6. 25</p>	<p>宇都宮大学の大学改革（新学部 の設置構想）について</p>	<p>○政府においても地域活性化に 力を入れているので是非進め るようにしてもらいたい。 ○意欲的で素晴らしいことであ る。県内の関係機関との協力を 得て進めてもらいたい。</p> <p>○学生のモデルキャリアパスに ついては、しっかりと考えてい ただきたい。</p> <p>○地域の課題を如何に把握する か、そのためには地方行政とか 地域の企業に密着して課題を 把握することも必要である。</p>	<p>○新学部設置構想については、「地域 の持続的な発展に関する教育・研究 ・地域貢献を推進することによって、 豊かな生活の実現に貢献する」を理 念としており、これに当たっては、 県内の自治体、経済界及び高等学校 から要望を受けたもので、関係機関 と協力して進めることとしている。</p> <p>○新学部は 3 学科構成としており、コ ミュニティデザイン学科は社会科学 系で県、市の行政職を想定しており、 従来の能力に加えて、理系の能力を 備えた人材を考えている。また、他 の 2 学科については、建築、土木を ベースとしているが、単なるハード 面だけでなく、社会科学の基礎知識 や住民とのコミュニケーション能力 を備えた人材を育て供給することと している。</p> <p>○地方自治体へのインターンシップな どにより、1 年次から課題意識を持 つようなプログラムを考えている。</p>
<p>第 3 回 26. 12. 15</p>	<p>宇都宮大学の大学改革（新学部 の設置構想）について</p> <p>宇都宮大学の教育研究活動等 への取組について</p>	<p>○新学部は地域密着型の構想で あるから、地元の企業や農家等 へ積極的に学生を送り込んで いただきたい。実際には、現場 で地域の実態を知り、問題をど う取り上げ、解決していくかが 重要になる。このような力を養 える科目があればユニークな ものになる。</p> <p>○基盤教育センターの教育活動 に関し、教養教育で重要になる のは人間力を教えることであ る。人間力をつけたうえで社会 に送り出すためには、家庭教育 では十分でないのが実情であ るので、その点に力を入れた取 組をお願いしたい。</p>	<p>○新学部に共通するターゲットとし て、「地域対応力」を掲げており、 地域としっかり向き合い、今何が起 こっていて何が課題であるかを見極 め、しっかり現場に入っていくこと などに加えて調査分析能力を養うこ とである。現在、これらについてカリ キュラムを分かりやすい形で整理 しているところである。</p> <p>○今まで多くの教養科目は教室での座 学が多かったが、それでは不十分で あると強く認識し、アクティブラー ニング、或いは能力指標を測った上 で人間力を培う教養教育に向けて取 り組んでいる。今回いただいた意見 を踏まえ、さらに取組を強化する。</p>

<p>第 3 回 26. 12. 15</p>	<p>宇都宮大学の教育研究活動等への取組について</p>	<p>○教職大学院は実務を重んずるということであるが、教える側のスタッフに座学だけで教育をしている教員が含まれていては好ましくないのではないか。</p>	<p>○指導体制については、日頃から現場で授業に精通している実務家教員を揃えている。</p>
<p>第 4 回 27. 2. 3</p>	<p>宇都宮大学の教育研究活動等への取組について</p>	<p>○オプティクス教育研究センターの研究活動に関し、光をエネルギーとして使う内容がなかったが、この当たりの研究はどうなのか。 また、県内にも半導体や電子部品関連の企業は多い。地元企業にも貢献していただきたい。</p> <p>○Project iChiGo について、梱包を見るかぎりコストがかかっているのではないか。糖度はロボットで計測できるのか。 また、販売、提携を考えると、これを機にベンチャーを起せば良いのではないか。</p>	<p>○光は情報媒体としてだけでなく、エネルギーの塊として利用し、レーザー加工に応用する技術開発を行っている。内部加工やナノ修飾加工、超微細穴加工、剥離加工などである。オプティクス教育研究センターの戦略は地域と世界にある。地域貢献を通じて地域と世界を結ぶ戦略を進めたい。</p> <p>○コストを抑えることも考え、ロボット化している。糖度については、赤外線を照射する方法が有効であると分かっているので、可能になる見込みである。ベンチャーについては、既に立ち上げており、事業を展開している。</p>
<p>第 5 回 27. 3. 25</p>	<p>宇都宮大学リスク管理規程の制定について</p>	<p>○新生を迎えるに当たり、学生のリスクに関し、飲酒による事故がないようにしてもらいたい。</p>	<p>○学生のサークルに関しては、研修会やDVDによる啓蒙を行った。また、サークルの認定に当たっては、誓約書的な文言を加え、更に年間の活動計画を提出させきめ細かい生活指導を行っている。 一般の学生に対しては、研修会の実施に加え、飲酒抑制の缶バッジを作成し、オリエンテーションで配布することとしている。サークルには既に配布済みである。</p>